



雨の多い季節ですが、雨の中に咲くキレイな紫陽花が心のジメジメを吹き飛ばしてくれますね。
雨の降る様子を見たり、貴重な晴れ間に虹を探したり…梅雨の時期も楽しみを見つけて楽しく
過ごしたいと思います。 ※6/29(月)～7/10(金)三幸学園から実習生が1名来ます。

行事

1日(月)	身体測定
17日(水)	おはなし会(以上児)
18日(木)	おはなし会(未満児)
23日(火)	プール開き
24日(水)	誕生会

☆尿検査(ぞう・らいおん・きりん・ぼんだぐみ)… 17日(水)の朝1番の尿
をとって、必ず職員に手渡ししてください。

※ぼんだぐみは採取ができたらかまいません。

☆プールあそび…屋上でプール遊びをします。安全に行う為に、監視
者と指導者に分けて配置することを基本にしています。そのため職員
配置などの事情で監視体制を確保できないと判断した時には、水遊
びや他の活動に変更する場合があります。

※ プールバックは、使用しなかった日も持ち帰ってください。

ごめんね は気持ちより言葉が大事?



保育園はたくさんのおともたちが一緒に生活をする場。仲良く遊んでいたかと思ったら、ケンカをし
たり、その反対で、ケンカをしているかと思ったら次の瞬間には笑いあっていたり。自分の気持ちや友だちの
気持ち、いろいろな気持ちを感じながら過ごしています。

その中で、ケンカになった時に手がでてしまったり、わざとじゃなくても当たってしまったりすることがあ
ります。そんな時素直に謝れる子と謝れない子がいますが、保育園では、お互いの気持ちを聞いて受
け止めつつ、「ごめんなさいは？」と言わないようにしています。なぜかというとな大人から「ごめんなさ
いを言って」と言われ続けると、「ごめん」と言ったら OK なんだと思ってしまうから。そうすると、「あやま
ったのに、ゆるしてくれん」「ごめんっていったやん！」と逆に怒り出すことも。もちろん、悪かったと思っ
た時にごめんなさいと言うことは大切なこと。ごめんねを強要するのではなく、素直に謝れた時に その
ことを褒めたり、大人が子どもにごめんね、と言う姿を見せたりしていくことで、子ども自身が『悪いと思
った時には、ごめんっていうんだ』と感じてくれるようにしています。言葉がでない小さいクラスの子や、
ごめんねが言えない子も、表情で“ごめん”を表現しています。

いつか素直な気持ちで、ごめんねが言えるように、長い目と広い心と一緒に
見守っていきましょう。

